



今号の主な内容

- 決算審査…①～③
- 一般質問…④～⑤
- 議決一覧(8月会議・9月会議)…⑥
- タブレット端末導入 / 議会報告会へ寄せられた意見・感想…⑦
- 委員会改選 / 常任委員会所管事務調査報告 / 今後の予定…⑧

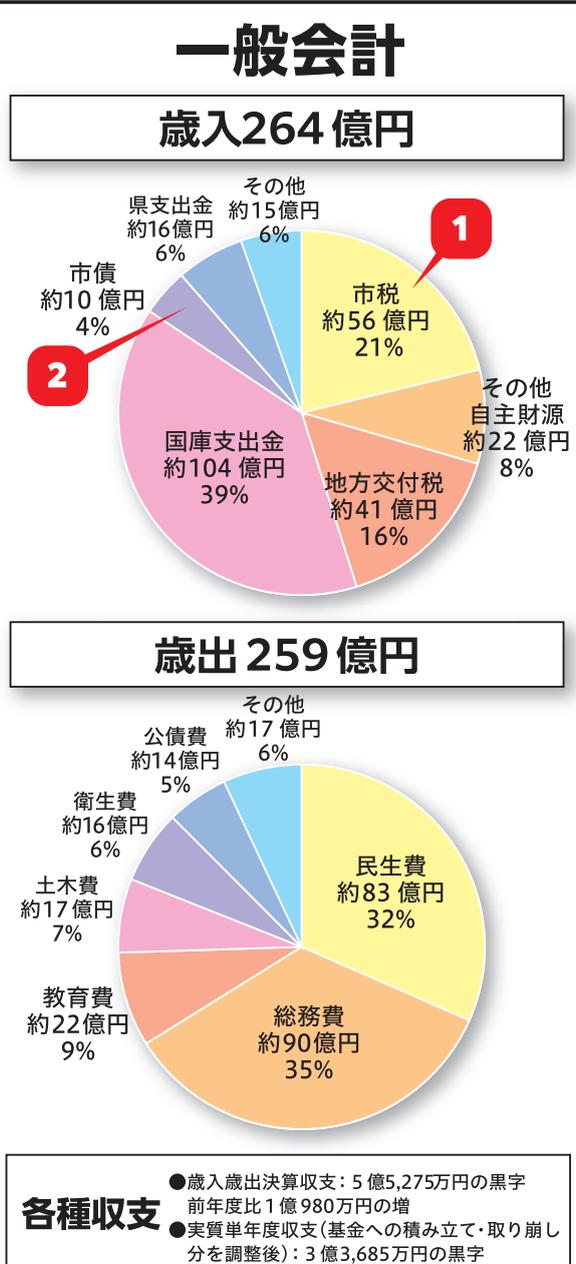
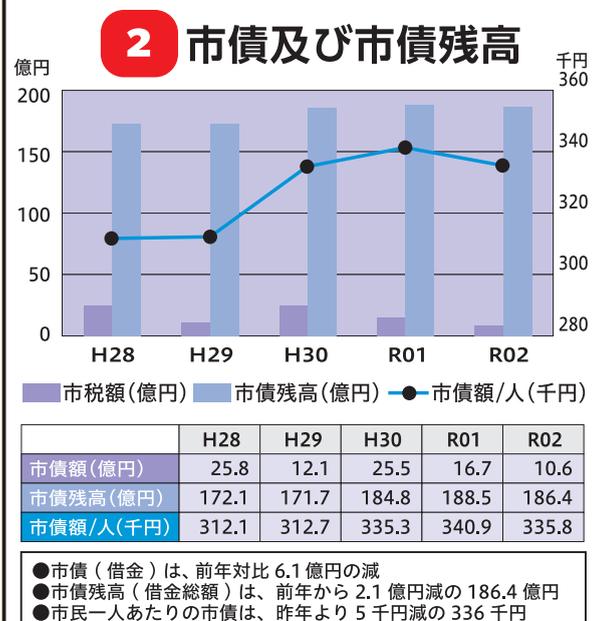
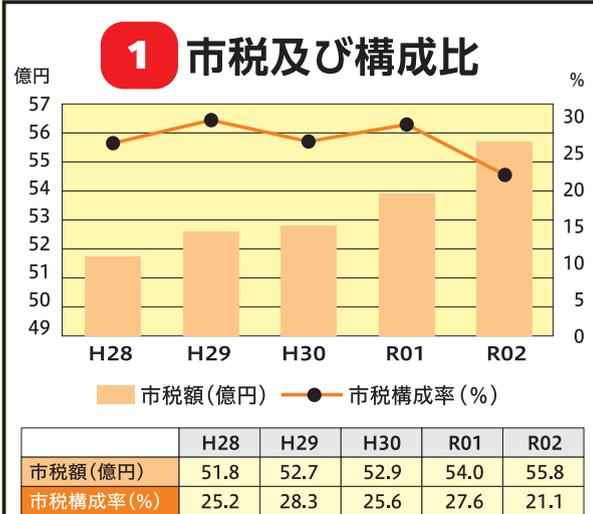
# 令和2年度歳入・歳出決算を認定

9月会議では、令和2年度決算認定の議案を審議・採決しました。コロナ対応事業費が増大し、歳入では収納率の状況等、歳出では各事業の効果や課題等を質疑し、認定しました。

## 令和2年度決算審査報告



### 決算審査の流れ



### 歳入

〔市税〕個人分の収納率が向上し、増収した要因は、  
〔答〕 収納率は特別定額給付金の支給が向上につながり、増収は給与所得者が転入等により330名ほど増加したことです。  
〔問〕 法人分の収納率が低下し、減収した要因は、  
〔答〕 納税義務者が12法人減り、法人税率が12・1%から8・4%に低下したことが大きな要因です。  
〔問〕 固定資産税は2190万円増えたが、収納率が下がった要因は、  
〔答〕 増収の主な要因は、新築家屋が425棟あったためです。収納率が低下したのは、徴収猶予の金額が1000万円ほどになり、持ち越したのが要因です。  
〔地方消費税交付金〕  
〔問〕 3・2億円増収の要因は、  
〔答〕 税率8%から10%への引き上げが全体としての増収の要因です。  
〔使用料・手数料〕  
〔問〕 狂犬病予防等手数料が予算額より増加した要因は、  
〔答〕 新規登録件数が前年比で5件減っていますが、ブリーダーの登録があり、増収しました。  
〔庫庫支出金〕  
〔問〕 特定防衛施設周辺整備調整交付金の充当先の内訳は、  
〔答〕 2年度は小中学校のトラックター購入、消防ポンプ自動車購入や小岩井駅前広場トイレ整備事業等の9事業に充てられました。  
〔県支出金〕  
〔問〕 生活再建住宅支援事業費補助金の予算額に対して、収入見込み額が大幅に減った要因は、  
〔答〕 元年度の実績を参考に駆け込み需要も勘案し、予算措置をしましたが、コロナ禍で個人収入の落ち込みと木材の高騰があり申請件数が伸びませんでした。  
〔寄付金〕  
〔問〕 ふるさと納税の実績に対する評価と課題は、  
〔答〕 寄付額で1・8倍の約4080万円になりました。ポータルサイトを追加し、寄付しやすい環境づくりに努めました。今後より一層事業の推進に努めます。  
〔繰入金〕  
〔問〕 財政調整基金繰入金  
の主な充当先の内訳は、  
〔答〕 2年度は全庁的なシステム改修経費やコロナ対策の経費等に繰り入れています。

# 歳出 第3専門委員会(産業建設分野)

## 重点 道路整備について

- ① 滝沢市私道等補助事業について
 

Q: 整備した内容、実績は。  
A: 野沢地区1路線の舗装工事をを行い、利用者5戸の生活環境向上に寄与しました。
- ② 市道等維持管理事業について
 

Q: 市舗装維持管理計画の実施の優先順位に住民要望を反映しているのか。  
A: A、B、Cランクを設け整備に緊急を要する箇所、住民要望を加え実施しました。さらに80路線以上を計画します。
- ③ 市道改修事業について
 

Q: 事業の改修内容、実績は。  
A: 修繕管理台帳を基に、4か所の改修を実施しました。さらに、管理台帳に18路線112箇所を追加しました。

- 【審査の視点】
  - ① 事業主体、事業規模、整備内容事業の成果
  - ② 事業実施計画への市民要望の反映
  - ③ 修繕管理台帳の計画的な修繕工事の実施路線の決定
- 【審査の評価】
  - ① 私道を利用する地域の連帯した取り組みにより改善が図られた。
  - ② 維持管理計画による3段階評価と、点検による緊急性の確認等市民要望が反映され実施された。
  - ③ 市の道路整備基本方針に基づく修繕管理計画台帳と3段階評価、緊急性を勘案し実施された。

## 重点 観光地域資源について

- ① 地域資源振興事業について
 

Q: ポータルサイト増設の効果は。  
A: サイト増設と事務移管した事による観光と土産の連動性が寄付金の増加につながったと考えます。
- ② 物産振興事業について
 

Q: 特産品のすいか・リンゴのPR効果は。  
A: 地域おこし協力隊や滝沢市観光協会との連携で滝祭・名古屋市でPR、販売拡大を行いました。
- ③ 滝沢市特産品開発事業について
 

Q: ブランド化は図れたか。  
A: 新商品開発はゼロでしたが、すいか・イワナのパッケージ作成を行い産地としてのPRを行いました。

- 【審査の視点】
 

ふるさと納税に係る観光物産資源の提供・連携の充足度
- 【審査の評価】
 

ふるさと納税の実績を伸ばしていくためには、PR等を目的とした発信力、返礼品の充実を図った企画力が主な戦略となる。2年度はコロナ影響下で大変な環境でありながらも、他県での販売やポータルサイトの増設により販路拡大につなげている。また、地域おこし協力隊や市観光協会、市商工会との連携を継続し、納税しやすい環境を作ってきたことも評価される。

- 有害鳥獣防護柵設置補助事業について
 

Q: 被害額に対する事業費の評価は。  
A: 元年度は240万円だったものが2年度は460万円が被害が想定されており、今後も被害額の拡大が予測されるところから不足だと考えます。
- 電気牧柵について
 

Q: 電気牧柵だけではなく、ほかの対策にも利用できる要綱にするべきでは。  
A: 他自治体と同様に猟友会の資格取得支援などの施策も検討していきます。

- 交通弱者の為に交通手段確保について
 

Q: 今後の公共交通網整備は。  
A: 生活環境の変化に対応して空白の地区や時間がないようにできる事を検討します。
- 空き家対策について
 

Q: 空き家バンクの運営方針は。  
A: 現在、登録物件3件、利活用希望5件、検討委員会を通じ対策計画を立て、4年3月末頃に周知の予定です。

## 重点 空き家対策について

- 図書館運営について
 

Q: 図書館運営、利用者数の減少理由。  
A: コロナ禍による影響のほか、電子辞書やネットの普及により年々、貸出数や利用者数が減少しています。
- 図書館運営について
 

Q: 貸出数、利用者数の減少理由。  
A: コロナ禍による影響のほか、電子辞書やネットの普及により年々、貸出数や利用者数が減少しています。

- 【審査の視点】
 

危険物件の空き家対策、増加対策、利活用と全国的な問題である空き家対策が始まった2年度の状況確認と今後の方向性を確認
- 【審査の評価】
 

開始から1年も経たない段階としての空き家バンクでの成約実績や市独自の取り組み等、一定の評価ができる状況である。各種の整備が進み、所有者不明物件の代執行等の実施が、予測より早く段階でできそう。進捗状況は大きく評価され、今後の実行が期待される。

- 交通安全について
 

Q: 交通事故発生件数の増加の要因は。  
A: 降雪期間に横断歩道と交差点部での事故が増えています。  
Q: 人身事故の要因は。  
A: 同じく降雪期間に多く発生し、高齢者の事故が増えています。  
Q: 事故対策は。  
A: 高齢者へのドライブ研修を30名を対象に実施しました。
- 地域要望について
 

Q: 地域要望の安全施設の設置状況は。  
A: カーブミラーは要望10件に対し、8件が基準外で、1件が用地が無く、設置は1件のみとなりました。また、防犯灯は要望46件に対し10件を設置しました。

- 不登校対策について
 

Q: 不登校が増加している要因は。  
A: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。コロナによる影響とは断定できません。  
Q: 対策の効果と登校復帰人数は。  
A: 人数の把握はしていませんが、個票を作成し、フォローしています。
- 教育における子ども・子育て支援
 

Q: 不登校対策について
 

Q: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。コロナによる影響とは断定できません。

## 重点 教育における子ども・子育て支援

- 不登校対策について
 

Q: 不登校が増加している要因は。  
A: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。コロナによる影響とは断定できません。
- 教育における子ども・子育て支援
 

Q: 不登校対策について
 

Q: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。コロナによる影響とは断定できません。

- 不登校対策について
 

Q: 不登校が増加している要因は。  
A: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。コロナによる影響とは断定できません。
- 教育における子ども・子育て支援
 

Q: 不登校対策について
 

Q: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。コロナによる影響とは断定できません。

- 交通安全について
 

Q: 交通事故発生件数の増加の要因は。  
A: 降雪期間に横断歩道と交差点部での事故が増えています。
- 地域要望について
 

Q: 地域要望の安全施設の設置状況は。  
A: カーブミラーは要望10件に対し、8件が基準外で、1件が用地が無く、設置は1件のみとなりました。

- 不登校対策について
 

Q: 不登校が増加している要因は。  
A: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。
- 教育における子ども・子育て支援
 

Q: 不登校対策について
 

Q: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。

## 重点 健康づくりについて

- 健康づくりについて
 

Q: 健康アンバサダーとは。  
A: 正しい健康情報を身近な方へ口コミで広めてもらう事を狙った取り組みです。  
Q: 人数が66名で十分か。  
A: 予定を100名としていたので、少ないです。興味を持ってもらうよう対応を検討します。
- 各種検診事業について
 

Q: 婦人病検診事業で、厚生労働省の示す検診率50%は守られているか。  
A: 子宮頸がん22.9%、乳がん26.2%で厚生労働省の50%には届いていません。  
Q: 精密検査を受けられるのは市内の医療機関のみか。  
A: 県が登録した医療機関で受診できます。

- 健康づくりについて
 

Q: 健康アンバサダーとは。  
A: 正しい健康情報を身近な方へ口コミで広めてもらう事を狙った取り組みです。
- 各種検診事業について
 

Q: 婦人病検診事業で、厚生労働省の示す検診率50%は守られているか。  
A: 子宮頸がん22.9%、乳がん26.2%で厚生労働省の50%には届いていません。

【自由討議とは】  
自由討議は、問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理し、議員間の理解を深めるとともに、公開することによって議会としての説明責任を果たすことを目的としています。

【自由討議とは】  
自由討議は、問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理し、議員間の理解を深めるとともに、公開することによって議会としての説明責任を果たすことを目的としています。

【自由討議とは】  
自由討議は、問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理し、議員間の理解を深めるとともに、公開することによって議会としての説明責任を果たすことを目的としています。

【自由討議とは】  
自由討議は、問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理し、議員間の理解を深めるとともに、公開することによって議会としての説明責任を果たすことを目的としています。

# 歳出 第1専門委員会(総務教育分野)

## 重点 交通安全・防犯

- 交通安全について
 

Q: 交通事故発生件数の増加の要因は。  
A: 降雪期間に横断歩道と交差点部での事故が増えています。
- 地域要望について
 

Q: 地域要望の安全施設の設置状況は。  
A: カーブミラーは要望10件に対し、8件が基準外で、1件が用地が無く、設置は1件のみとなりました。

- 【審査の視点】
 

交通安全・人身事故件数の増加の要因分析と対策
- 【審査の評価】
 

降雪期間の事故の増加は理解できるが、高齢者への対策は引き続き強化していく必要がある。

## 重点 地域づくり・地域防災

- 地域づくりについて
 

Q: 自治会加入率低下の要因と対策は。  
A: コロナ禍で活動が思うようにできなく、加入率の低下につながりました。広報などで周知し、各自自治会でも加入を促しています。
- 自主防災と消防団について
 

Q: 自主防災訓練の減少の影響は。  
A: コロナ禍でも屋外や規模縮小など工夫して5件の訓練が実施されました。

- 【審査の視点】
 

① コロナ禍による地域活動の低下と対策
- 【審査の評価】
 

① 自治会加入率の低下は、コロナの影響だけではないとも思われるので、更なる検証が必要である。コロナ禍で地域活動や自主防災活動の低下はやむを得ないものと思われるが、工夫した活動と支援が求められる。

- 交通安全について
 

Q: 交通事故発生件数の増加の要因は。  
A: 降雪期間に横断歩道と交差点部での事故が増えています。
- 地域要望について
 

Q: 地域要望の安全施設の設置状況は。  
A: カーブミラーは要望10件に対し、8件が基準外で、1件が用地が無く、設置は1件のみとなりました。

- 【審査の視点】
 

交通安全・人身事故件数の増加の要因分析と対策
- 【審査の評価】
 

降雪期間の事故の増加は理解できるが、高齢者への対策は引き続き強化していく必要がある。

## 重点 教育における子ども・子育て支援

- 不登校対策について
 

Q: 不登校が増加している要因は。  
A: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。
- 教育における子ども・子育て支援
 

Q: 不登校対策について
 

Q: 家庭環境の急激な変化、生活の乱れ、人間関係による増加と考えています。

- 【審査の視点】
 

① 不登校児童生徒の増加とコロナ禍の影響
- 【審査の評価】
 

① コロナの影響とは言えないがさまざまな要因により、増えている実態があり、今後も要因分析と対策に注視する必要がある。

# 歳出 第2専門委員会(環境厚生分野)

## 重点 ごみ減量化と処理の広域化について

- ごみの減量化について
 

Q: 事業の成果は。  
A: 資源ごみの量を見ると、個人が分別を意識し、店頭回収量が増えました。小型家電は前年比2.9倍です。
- ごみ処理広域化推進事業について
 

Q: 協議会の内容とスケジュールは。  
A: 3年3月の協議会で施設の建設予定地を確定しました。11年稼働の予定でしたが13年の稼働を目指します。

- 【審査の視点】
 

① ごみの減量化、資源化の推移、成果
- 【審査の評価】
 

① 資源ごみの分別が進み、回収量が増えることは重要であり、さらに周知の徹底が必要である。

## 重点 子ども・子育て支援について

- 放課後児童健全育成事業について
 

Q: 放課後児童クラブでのコロナ対策は。  
A: 施設内の消毒の徹底、児童の体調管理、小学校一斉休校時の午前からの受け入れなどの対応等です。
- 保育対策総合支援事業について
 

Q: 保育所借上げ支援事業の成果と課題は。  
A: 新卒者など若手の保育士の確保・定着に一定の効果がありました。課題は、市内在住者となっていないため、市外在住者についても検討します。

- 【審査の視点】
 

① コロナ禍での「子ども・子育て世代への支援」のあり方
- 【審査の評価】
 

① 放課後児童クラブ内に児童を隔離できる居室の整備が早急に必要である。

- 交通安全について
 

Q: 交通事故発生件数の増加の要因は。  
A: 降雪期間に横断歩道と交差点部での事故が増えています。
- 地域要望について
 

Q: 地域要望の安全施設の設置状況は。  
A: カーブミラーは要望10件に対し、8件が基準外で、1件が用地が無く、設置は1件のみとなりました。

- 【審査の視点】
 

交通安全・人身事故件数の増加の要因分析と対策
- 【審査の評価】
 

降雪期間の事故の増加は理解できるが、高齢者への対策は引き続き強化していく必要がある。

## 重点 健康づくりについて

- 健康づくりについて
 

Q: 健康アンバサダーとは。  
A: 正しい健康情報を身近な方へ口コミで広めてもらう事を狙った取り組みです。
- 各種検診事業について
 

Q: 婦人病検診事業で、厚生労働省の示す検診率50%は守られているか。  
A: 子宮頸がん22.9%、乳がん26.2%で厚生労働省の50%には届いていません。

- 【審査の視点】
 

① 健康づくりに向けた新たな取り組みの内容確認
- 【審査の評価】
 

① 健康づくりに対して、良い取り組みを行っている。健康アンバサダーを増やし、健康づくりの気運を高めていく必要がある。

【自由討議とは】  
自由討議は、問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理し、議員間の理解を深めるとともに、公開することによって議会としての説明責任を果たすことを目的としています。

【自由討議とは】  
自由討議は、問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理し、議員間の理解を深めるとともに、公開することによって議会としての説明責任を果たすことを目的としています。

【自由討議とは】  
自由討議は、問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理し、議員間の理解を深めるとともに、公開することによって議会としての説明責任を果たすことを目的としています。

【自由討議とは】  
自由討議は、問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理し、議員間の理解を深めるとともに、公開することによって議会としての説明責任を果たすことを目的としています。



# 一般質問 《9月会議》

## 質問内容の紹介

- コロナ関係… ワクチン接種の状況と今後の対応
- 福祉… 補聴器購入支援、家庭内介護者への支援、生理の貧困
- くらし… 自治会の継続性、除排雪、带状疱疹ワクチン、生活支援体制づくり、歩道及び待避所設置、福祉避難所
- 育児・教育… 子どもの医療費助成、放課後児童クラブ、教科担任制度、保育園の施設充実
- 安全… 通学路の安全確保
- 環境… 林地開発行為
- 財政… ふるさと納税

**公明党 小田島 清美 議員**

**Q** 带状疱疹ワクチン接種の公費負担への見解は。

**A** 带状疱疹の予防ワクチンは50歳以上の方に対する予防を目的に任意接種することができるようになっている。現在のところワクチンの公費負担は予定していませんが、今後も情報収集を継続し、市民の健康維持のために、対応を検討します。

**Q** 高齢者が安心して住み続けられる地域の支援体制づくりは。

**A** 高齢者が安心して住み続けられる地域の支援体制づくりは、高齢者の生活支援の活動や、シルバー人材センター等の関係機関からも意見を伺い、生活支援の担い手養成講座の開催を始め、地域のニーズに合ったサービスの創出に向けて方策を検討します。

**滝沢市民クラブ 日向 裕子 議員**

**Q** 鶴飼小学校区の放課後児童クラブの新設で、放課後児童の環境は改善されたか。

**A** 新規の「放課後キッズクラブにじいろ」を含め4か所設置になり、待機児童が解消されました。

**Q** 待機児童の増加、保育環境、支援員の労働環境における本市の状況は。

**A** 利用児童数は増加傾向にありその対応とともに、保育環境や支援員の労働環境等の現状を把握し、改善に努めます。

**Q** 带状疱疹ワクチン接種への公費負担は情報収集を継続し対応を検討します

**A** 多様化する高齢者の支援サービスの創出を目的に「生活者支援体制整備事業」として市民主体の取り組みを推進していきます。今後は、すでに地域で活動している生活支援の担い手や、シルバー人材センター等の関係機関からも意見を伺い、生活支援の担い手養成講座の開催を始め、地域のニーズに合ったサービスの創出に向けて方策を検討します。

**Q** 鶴飼小学校区の放課後児童の環境改善は新設により待機児童が解消されました

**A** コロナ禍の拡大防止対策への支援は。鶴飼小学校区は40社ほどですが、除雪機械のオペレーターの高齢化に加え厳しい労働環境から、担い手が不足しています。持続可能な除雪業務を継続するために、業者や地域との懇談会を設け除雪作業の環境改善を進めます。

**Q** 市内の除排雪に際して、地域にあった除雪体制構築の支援に努めます。

**A** 現状を改善するため、地域にあった除雪体制構築の支援に努めます。

**菅野 福雄 議員**

**Q** 岩手緊急事態宣言が発令され、一日の最大想定感染者数を超えた事態の対応は。

**A** クラスター発生を抑えるために、小中学校教員等のワクチン接種を9月中に終わる見込みです。市内の感染拡大を抑制する取り組みを行い、県の方針に基づきながら対策を検討します。

**Q** 不要不急の出張や外出等を避け、会議や研修はオンライン等で行います。

**A** 必要不急の出張や外出等を避け、会議や研修はオンライン等で行います。

**滝沢市民クラブ 松村 一 議員**

**Q** 多くの保育施設で床暖房およびエアコン設備が多目的ホールには未設置だが、今後の設置計画は。

**A** ホールへのエアコン未設置が6施設あります。扇風機だけでは熱中症の危険性もあることから、ホールのエアコン設置は有効です。保育対策総合支援事業費補助金を活用し、設置を進めています。今後も現状把握に努め、子育て環境の充実を図ります。

**Q** 福祉避難所の運営は直接指定福祉避難所に避難できるようにします

**A** 福祉避難所指定、対象者の把握、物資供給等の調査検討を進めます。

**Q** 配属が必要な方への接種は状況を把握し、個別に医療機関と協力して対応します。

**A** 昨年比べて件数が104件増えていますが、寄付額は28万円ほど減っています。

**Q** 10月にはポータルサイトを一つ追加する予定であり、引き続き経済産業部を中心に事業を推進します。

**Q** 保育園の施設充実対策は必要に応じて施設側の判断により実施します

**A** 床暖房設備については、必要に応じて施設の判断により設置するものと考えています。

**Q** 地域住民の悲願である、大石渡線の歩道設置計画は。

**A** この路線は平成4年度に県から移管を受け、市道認定しており、道路整備計画に置いて歩道設置必要路線として位置付けています。次期総合計画策定に合わせて道路整備計画の見直しを予定しており、そ

### QRコードの掲載について

カメラ付きの携帯通信端末等でQRコードを読み取ると、YouTubeで配信している録画映像をご覧になれます。

**各派に属さない議員 菅野 福雄 議員**

**Q** 各派に属さない議員の活動は。

**A** 議員としての活動は、市民の健康維持のために、対応を検討します。

**Q** 議員としての活動は、市民の健康維持のために、対応を検討します。

**A** 議員としての活動は、市民の健康維持のために、対応を検討します。

**井上 仁 議員**

**Q** ワクチン接種の日程の周知方法は。

**A** 現在変わらずSNS、テレビのデータ放送、ホームページ、防災行政無線を活用します。

**Q** 今後の予約方法と枠の割合は。

**A** 予約枠の割合を設定せず、基本的にインターネット予約とし、併せて電話も受け付けます。

**Q** 会場の増設・変更は。

**A** 集団接種会場および市内12医療機関での個別接種で実施します。

**Q** 働く世代の接種日時の柔軟な対応は市民が自由に接種会場および日時を選択できます

**A** 労働現役世代の接種改善対策は。市内の感染拡大状況を見ながら、第2弾や必要に応じて別の支援策への転換等、市商工会と連携して支援します。

**Q** 市内企業の動向は。

**A** 感染拡大状況やワクチン接種の状況といった変化を捉えながら情報収集に努めます。

**Q** 追加支援策の検討は。

**A** 深刻的な影響を大きく受けている事業者に対する支援を検討しており、早期に対応します。

**奥津 一俊 議員**

**Q** 開発面積1ha以下の林地開発行為に対する適正な林地利用を誘導させる方策は。

**A** 森林法に基づく届出書の提出を徹底させることともに、無届伐採に対しては、再発を防止するために指導します。

**Q** ネット社会に沿ったツールを利活用した、自治会役員の負担軽減化手法の構築は。

**A** 今年度、自治会を取り巻く環境把握や課題整理を行う予定で、各自治

**Q** 適正な林地利用を誘導させる方策は届出書の提出を徹底させます

**A** 会の現状に即した支援を研究します。

**Q** コロナに関する市長メッセージの内容や媒体等に対する改善は。

**A** 蓄積されたさまざまな知見や情報のうち、市民に伝えるべき情報もあることから、併せて提供できるように、情報発信の改善を検討します。

**Q** 基本的感染対策の再徹底に対し、日常生活に直結できる定量的・客観的表現を追記すべきでは。

**A** 本市のホームページ

**日本共産党 仲田 孝行 議員**

**Q** 難聴者への認知症診断の聴覚検査の実施は。

**A** 問診時に聴力の低下が疑われる場合に、専門医に付き検査を行う場合もあります。

**Q** 老年性難聴者の人数の把握は。

**A** 検査は実施していないため把握していません。

**Q** 多くの自治体で老年性難聴者に補聴器購入の補助を始めているが、本市でも実施する考えは。

**A** 市単独での実施は考えていませんが、国・県

**Q** 老年性難聴者への補聴器購入を支援する考えは

**A** 国・県による補助制度が創設されれば実施を検討します。

**Q** 家庭内介護で苦しんでいる介護者（ケアラー）を支援する制度は。

**A** サービス利用の前に介護家族の負担を把握し、その軽減のため支援の組み立てを行います。今後、その軽減につながるような支援に努めます。

**Q** 6月会議の「本市に生理の貧困はない」との答弁は実態を調査した上でのものか。

**A** 市内の全小中学校に対し調査を行ったもので、憶測で答弁したものではありません。

**新志会 山谷 仁 議員**

**Q** 各学校からの通学路整備に関する要望件数と改善件数は。

**A** 整備要望と改善は、元年度は8校から39件のうち4件、2年度は8校から31件のうち2件の改善で、3年度は10校から38件のうち3件の改善予定です。

**Q** 各要望への回答は。

**A** 毎年度2月ごろに改善検討および回答を学校教育指導課を通じて実施しています。

**Q** 今後の改善予定は。

**Q** 通学路の安全確保は危険箇所は早期の対策に努めます

**A** 規制の関係9件、施設は県道も含め整備改善を予定しています。また千葉県の事故を受け、市道の18件について教育委員会主導で7月に緊急点検を実施し、4箇所の改善を決定しました。

**Q** 通学路の安全確保は。計画済の路線も含め危険箇所は早期の対策に努めます。

**Q** 65歳以上のワクチン接種実績は。

**A** 2回目の接種人数は11962人で接種率

**日本共産党 川口 清之 議員**

**Q** 高校生の医療費助成の未実施は、本市を含め6市町しかないが、子育て支援、若者定住に逆行するのでは。

**A** 子どもの医療費助成の拡充が子育て支援や若者定住につながるひとつの手段と認識しています。施策拡充については、総合的に判断して検討します。

**Q** 本市の所得制限は、県基準と違うが。

**A** 県の所得制限限度額を超え、市独自で3歳未

**Q** 高校生の医療費助成がないのは若者定住に逆行するのでは

**A** 総合的に判断して検討します。

**Q** 満の乳幼児に医療費助成をしています。

**A** 接種に当たり配慮の必要な方には個々の状況を把握し、医療機関と協力しながら対応します。

**Q** 12歳から15歳までのワクチン接種会場と予約方法は。

**A** 8月30日から予約を受け付け、9月6日から接種を開始しています。会場は小児科等、市内3医療機関です。予約方法はインターネット予約と電話予約です。

# タブレット端末導入 完全ペーパーレス化 4年3月に向けて進行中

**Q: 議会運営委員会での活用は?**

会議の度の用紙が削減され、事務作業も軽減しました。ページの斉操作ができるので進行に役立っています。

相原委員長

**Q: 広報常任委員会の利用頻度は?**

毎回利用し、情報収集に活用しています。委員間の情報共有に役立っています。

齋藤委員長

## タブレット端末導入のポイント

**市民への情報発信**  
タブレットに入っている情報を議会報告会や調査報告などで使用可能

**環境負荷の軽減**  
ペーパーレス化による経費の削減をはじめ環境への配慮

**議会情報の共有**  
会議の資料やデータなどを議員全員で共有できるシステム「SideBooks」の導入

**事務の効率化**  
印刷業務の軽減や修正や差し替えに即座に対応。郵送、ファックスなどの待ち時間の軽減

**ペーパーレス化の推進**  
ペーパーレス化により、議員20名で年間約140万円の経費削減の見込

ペーパーレス化に向けた今後のスケジュール

各委員会・全協・改革推進会議	10月までに100%
本会議	12月までに100%
予算決算常任委員会	4年3月から

○随時、検証作業を行い、有効活用に向けて問題点などの解消に努めていきます。

## 3年議会報告会～おでんせ会議～開催

昨年、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために中止となった「議会報告会」を、今年は6月9日(水) 議場よりYouTube動画配信で開催しました。また、自治会へは製本資料をお渡しし、アンケートに回答していただきました。



### 報告会内容

- I) 議会の紹介と報告 II) 議会改革について III) 常任委員会所管事務調査
- ◎ 予算審査では主な懸案事項の審査報告をしました。
  - ・若者定住に関するつながり・安全な登下校・健康づくり・子育て支援
  - ・ごみ処理・空き家対策・公園維持管理・企業誘致・新規就農対策等
- ◎ 所管事務調査は「若者定住」に関して各常任委員長が調査報告をしました。



▲動画配信の様子

☆アンケートの自由意見・感想など

- 映像による報告会は大変わかりやすくてよかった
- いろいろ調査しているのは重要と思う。その結果住民の安心安全を確保するべきことは速やかに実施するべきで、議会はその確認を
- 議会でごみ問題を審議しているのか見えてこない
- 有料化、焼却施設のことなど
- マイナンバーカードの作成促進で公表されているサービスが提供されていない項目がある
- 評価基準がわからない
- 常任委員会報告で、具体的な提言もあったが、職員任せの評論でしかない抽象的な提言も
- 議員各位が積極的な活動をしていると感じた
- 議員が一人一台タブレットを持つことが市民とともに歩むことにつながるか疑問
- 議員は市への要望だけでなく問題解決に向けてともに歩むこと、また深く掘り下げていくことが必要
- 若者定住には、まず働く場所が必要

### アンケート集計結果

#### ●満足度(全体の評価)

	49点以下	50～59点	60～69点	70～79点	80～89点	90点以上	合計
合計点	0	250	0	215	400	90	955
人数	0	5	0	3	5	1	14
平均	0	50	0	71.7	80	90	68.2

#### ●オンライン開催について

評価	とても良かった(5)	どちらかといえば良かった(4)	どちらでもない(3)	どちらかといえば良くなかった(2)	全く良かった(1)	合計
人数	6	11	3	2	0	22
点数	30	44	9	4	0	87

点数 87÷22=3.95 (100点換算 79点)

#### ●予算審査について

評価	とても良かった(5)	どちらかといえば良かった(4)	どちらでもない(3)	どちらかといえば良くなかった(2)	全く良かった(1)	合計
人数	1	15	6	0	1	23
点数	5	60	18	0	1	84

点数 84÷23=3.65 (100点換算 73点)

#### ●議会 ICT化について

評価	とても良かった(5)	どちらかといえば良かった(4)	どちらでもない(3)	どちらかといえば良くなかった(2)	全く良かった(1)	合計
人数	5	12	5	1	0	23
点数	25	48	15	2	0	90

点数 90÷23=3.91 (100点換算 78点)

#### ●所管事務調査について

評価	とても良かった(5)	どちらかといえば良かった(4)	どちらでもない(3)	どちらかといえば良くなかった(2)	全く良かった(1)	合計
人数	4	12	5	2	0	23
点数	20	48	15	4	0	87

点数 87÷23=3.78 (100点換算 76点)

## 3年8月会議(8月6日)議案2件を審議可決

○可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称を知りたい方は、議会事務局へお問い合わせください。

議案第1号	3年度一般会計補正予算(第6号)	36,900千円
	○新型コロナウイルス感染症に関する情報発信のための印刷製本費	1,328千円
	○防災倉庫建設費	31,768千円
議案第2号	○小中学校での感染防止用消耗品購入(財源振替による基金積み立て)	3,804千円
	○手数料徴収条例の一部改正(行政手続きでのマイナンバー利用等に関する法律の一部改正に伴う改正)	

## 3年9月会議(9月1日～28日)議案11件・認定7件・発議2件を審議可決

○可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称を知りたい方は、議会事務局へお問い合わせください。

議案第1号	3年度一般会計補正予算(第7号)	481,985千円
議案第2号	3年度国民健康保険補正予算(第2号)	79,953千円
議案第3号	3年度後期高齢者医療補正予算(第1号)	3,529千円
議案第4号	3年度介護保険補正予算(第2号)	74,533千円
議案第5号	3年度介護保険介護サービス事業補正予算(第2号)	257千円
議案第6号	特定教育・保育事業の運営に関する条例の一部改正	
議案第7号	滝沢中学校校舎増築工事請負契約の締結	170,500千円
議案第8号	盛岡地区衛生処理組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更	
議案第9号	2年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
議案第10号	2年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
議案第11号	3年度一般会計補正予算(第8号)	145,548千円
認定第1号	2年度一般会計歳入歳出決算の認定	
認定第2号	2年度国民健康保険歳入歳出決算の認定	
認定第3号	2年度後期高齢者医療歳入歳出決算の認定	
認定第4号	2年度介護保険歳入歳出決算の認定	
認定第5号	2年度介護保険介護サービス事業歳入歳出決算の認定	
認定第6号	2年度水道事業会計決算の認定	
認定第7号	2年度下水道事業会計決算の認定	
発議第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書	
発議第2号	コロナ患者等の人権擁護に関する条例調査特別委員会設置に関する決議	

➡補正予算(第7号)《主な事業を抽出》

●負担金、補助金等の過年度精算による増(生活保護、子ども・子育て支援、子どものための教育・保育給付等)	147,827千円
●小中学校校舎等補修(滝沢小学校校内インターホン修繕、滝沢中学校貯水槽漏水修繕等)	7,205千円
●学校給食事業(センター改修工事、食器洗浄機コンベア修繕等)	1,904千円
●時間外勤務手当の増(3月までの見込み額)	39,002千円
●交付金内示額減による事業費の調整(△22,664千円)	
( JR小岩井駅活性化事業 △9,050千円)	
( 公園維持管理事業 27,325千円)	
( 向新田線道路改良舗装事業 △43,377千円)ほか3事業	

➡補正予算(第8号)《主な事業を抽出》

●新型コロナウイルスワクチン接種事業(ワクチン接種委託ほか)	68,790千円
●中小企業等経営支援事業等(中小企業等経営支援、いわて飲食店安心認証店促進)	31,220千円
●交通政策推進事務(コロナ感染症対応に関する対策・支援)	24,904千円

## ★上記の内、賛否が分かれた議案

結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	議席番号5は空席	
結果	賛成	賛成																				
結果	賛成	賛成																				
結果	賛成	賛成																				

## ○討論

<p><b>認定第2号 2年度国民健康保険歳入歳出決算の認定について</b></p> <p>【反対】 仲田 孝行 (日本共産党)</p> <p>本決算は、収入額は前年度比2.7%、1億2,800万円減の約48億3,800万円で、健康保険税が前年比0.8%、750万円減の9億1,100万円余となっています。県支出金は前年度比1.9%減の33億1,100万円余と、相対的に被保険者の負担割合が大きくなってきています。</p> <p>家族の介護のために仕事をやめる介護離職が10年間で105万人を超え、「介護難民と呼ばれる行き場のない高齢の要介護者」が数十万人規模にのぼるなど、介護をめぐる問題は緩和されています。</p> <p>本制度の改善のために、国保加入者の願いである、暮らしを成り立たせ「協会けんぽ」なみの、払うことのできる妥当な保険料で、安心して受診できる公的医療制度を求め、反対討論とします。</p>	<p><b>認定第4号 2年度介護保険歳入歳出決算の認定について</b></p> <p>【反対】 川口 清之 (日本共産党)</p> <p>本決算の歳出は、元年度37億6,700万円、2年度40億4,730万円と前年比7.4%と増加していますが、歳入は第1号被保険者保険料が9億8,420万円と前年比1.4%増加にとどまっています。</p> <p>家族の介護のために仕事をやめる介護離職が10年間で105万人を超え、「介護難民と呼ばれる行き場のない高齢の要介護者」が数十万人規模にのぼるなど、介護をめぐる問題は緩和されています。</p> <p>本市の独自の保険料の減免制度、利用料への補助などの施策をとるべきと考え、反対討論とします。</p>	<p><b>発議第2号 コロナ患者等の人権擁護に関する条例調査特別委員会設置に関する決議について</b></p> <p>【反対】 長内 信平</p> <p>本市でのコロナ禍における誹謗中傷等の人権侵害事例は、教育委員会では0件、市には1件が実情で、インターネットでの被害は把握されていない状況です。また、誹謗中傷は、法律事案であり、国で刑事罰の問題や時効などに対処し、法改正を検討しています。</p> <p>特別委員会では、コロナ患者等の人権擁護問題ではなく、コロナ禍全般を対象とした調査を行い、市民への感染予防対策やその対応、影響、今後における経済問題等、現在起きている全ての関連事項を幅広く対象とし、その調査の中で必要と判断されれば、人権問題を取り上げるべきが本筋であり、現状の提案内容では、市民に対する緊急事態として調査する対象とは考えられないので反対とします。</p>
--	---	--

### 新型コロナウイルス感染症 患者等の人権擁護に関する 条例調査特別委員会

新型コロナウイルス感染症患者等の人権擁護に関する条例の制定に向けた必要な事項の調査を行うための特別委員会を新たに設置しました。

【委員(会名)】 新型コロナウイルス感染症患者等の人権擁護に関する条例調査特別委員会

【設置期間】 令和3年9月28日から調査が終了するまで

【構成議員】 委員長▼稲荷場裕  
副委員長▼日向裕子

委員▼菅野福雄、遠藤秀鬼、仲田孝行、小田島清美、柳橋好子

委員会名	構成議員名		
議会運営委員会	委員長 相原 孝彦	副委員長 佐藤 澄子	委員：遠藤 秀鬼、仲田 孝行、齋藤 明、山谷 仁、角掛 邦彦
総務教育常任委員会	委員長 遠藤 秀鬼	副委員長 藤原 治	委員：日向 裕子、川口 清之、小田島 清美、稲荷場 裕
環境厚生常任委員会	委員長 相原 孝彦	副委員長 奥津 一俊	委員：菅野 福雄、松村 一、柳橋 好子、角掛 邦彦
産業建設常任委員会	委員長 山谷 仁	副委員長 仲田 孝行	委員：佐藤 澄子、井上 仁、齋藤 明、長内 信平
予算決算常任委員会	委員長 角掛 邦彦	副委員長 松村 一	委員：議長を除く議員全員
広聴常任委員会	委員長 仲田 孝行	副委員長 藤原 治	委員：奥津 一俊、佐藤 澄子、川口 清之、松村 一
広報常任委員会	委員長 齋藤 明	副委員長 小田島 清美	委員：菅野 福雄、日向 裕子、井上 仁、柳橋 好子
議会改革推進会議	委員長 佐藤 澄子	副委員長 小田島 清美	委員：議長を除く議員全員

### 新委員会

2年間の任期が満了になり各委員会等の改選が行われました。

### 環境厚生常任委員会 所管事務調査報告



調査事項：若者定住に向けた子育て環境（放課後児童クラブ）について

調査理由及びその目的：本市の放課後児童クラブは、長年、大規模クラブの問題を抱えており、また、民間の宅地開発による児童の増加も見込まれている。このことから、若者定住に向け、放課後児童クラブの待機児童や大規模クラブ解消の状況を調査研究するものである。

#### まとめ

本市の人口は微増しており、特に中央部では未だ開発が見受けられる。また、核家族および共働き世帯の増加により、放課後児童クラブのニーズは今後も高まっていくことが想定される。一方、設備および運営の基準を定める条例に規定する最低基準の目的「明るくて、衛生的な環境において、素養があり、かつ、適切な訓練を受けた職員の支援により、心身ともに健やかに育成されることを保障するものとする」に反する課題が山積している。このことから、以下の課題の解決に向け、取り組みが必要である。

#### (1) 定員超過

定員超過のクラブが7クラブ、そのうち2クラブが71人以上の大規模クラブとなっていることから、適切な利用者ニーズの把握を図ることが必要である。

#### (2) 設備の不足

定員超過の受け入れが原因となり、トイレや手洗い場が不足している。特にトイレ不足に関しては仮設の設置も含め、早急に対応すべき事案である。

#### (3) 施設の老朽化

施設の老朽化が進みエアコンを含めた修繕費用が必要となる。施設の延命化及び維持管理には十分な予算化が必要である。

#### (4) 立地場所

同一学区内のクラブ間において、学校敷地内と離れた場所との不公平感が生じている。この課題の解消のためには学校敷地内への移設または学校の空き教室の活用を具体的に検討すべきである。

#### (5) 小規模クラブの運営等

定員を大幅に下回るクラブの運営支援を含め、市の独自加算の算定基準の見直しを検討すべきである。

### 総務教育常任委員会 所管事務調査報告



調査事項：スクールガードの在り方について

調査理由及びその目的：現在、スクールガードの活動に対し、保険の加入、証明書の作成、ベスト・帽子の配布が実施されている。スクールガードはボランティアとはいえ、今日における地域への貢献度は高く、スクールガードに関する検証等がなされるべきであるため、調査するものである。

#### まとめ

市教育委員会への事務調査およびスクールガードへのアンケート調査から以下の取り組みが必要であると考えます。

#### (1) 活動状況

現在、子どもの登下校時に合わせて「ながら見守り」を基本の活動としているが、週5回（毎日）、日常的に活動している人が多い。それが本人の負担感、他人へのプレッシャーとなっていると思われる。多くの市民がスクールガードを身近に感じ、我がことと捉えられるよう「ながら見守り」でも構わないという風潮を高めていく必要がある。

#### (2) 貸与品等

市教育委員会ではボランティア活動保険の加入手続きを実施している。アンケート結果では、現在貸与されているベスト、帽子、身分証について十分であるとの回答が多かったものの、貸与品の更新や防寒着・雨合羽等の貸与があってもいいという声も複数見られた。ただし、防寒着等を自治会が支給している地域もあること、また、貸与を受けることで義務感が生じる等との考えもあることから、貸与品については検討する必要がある。

#### (3) 講習会・交流会

講習会の機会、交流はともにあまり十分ではなく、講習会に関しては実施していない学校も見受けられる。スクールガードの行き過ぎた交通誘導が危険であるという声もあることや児童に対する接し方など、講習会は地域の実情に合った内容で、各学校で定期的実施すべきである。

#### (4) なり手の確保

なり手の確保には、教育振興運動の一環として取り組んでいくことも考えられる。さらに、自治会のごみ当番に合わせてスクールガードを交代で担当するなど柔軟に活動に参加できるような仕組みを考えていく必要がある。

## 12～1月の予定

12月	2日(木)	議会運営委員会※ 全員協議会※	1月	6日(木)	1月会議 議会運営委員会※ 全員協議会※
	9日(木)	12月会議(初日)		31日(月)	議会運営委員会※ 全員協議会※
	10日(金)	各常任委員会※			このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。 ※は、それぞれ委員会室等で開かれます。
	13日(月)	12月会議(一般質問)			
	15日(水)				
	17日(金)			12月会議(最終日)	

### 滝沢市議会ホームページ

QRコードをスマートフォンなどの携帯端末で読み取ると「滝沢市議会」のホームページをご覧ください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

9月会議の傍聴者  
**18名**  
(前年9月64名)

